

私立大学図書館協会 2015 年度第 2 回東地区部会役員会
議事要録

日 時：2016 年 1 月 22 日（金）15：00～17：25

場 所：学習院大学 学習院創立百周年記念会館 3 階 会議室

出席校：会長校 東洋大学 (青木、千葉、布施、高橋)
部会長校 学習院大学 (脇坂、中村、水津、米田)
研究部担当理事校 桜美林大学 (坐間、佐々木)
分科会更新担当理事校 文化学園大学 (柳沼、尾崎)
分科会月例担当理事校 白百合女子大学 (川井)
地区ブロック選出理事校 藤女子大学 (中村)
監事校 明治大学 (林、菊池、浅野)

※敬称略

配付資料：

- ・私立大学図書館協会 2015 年度第 2 回東地区部会役員会（以下「役員会資料」と記載）
- ・資料 1 私立大学図書館協会 2015 年度第 2 回常任幹事会
- ・資料 2 2016 年度予算案の補足説明について
- ・資料 3 東地区役員校活動費運用内規改正について（提案）
- ・資料 4 新規研修プログラムについて（提案）
- ・資料 5 研究部会計の繰越金について（提案）
- ・資料 6 東地区役員校一覧

議事に先立ち、部会長校学習院大学より挨拶があった。議事進行は、部会長校学習院大学図書館長が担当した。なお、議事次第の順番を変更し、協議事項から始めるとの説明があった。

議 事：

[報告事項]

1. 東地区部会関係

2015 年度東地区部会会務報告

部会長校学習院大学より、役員会資料（PP.5-8）に基づき報告があった。

2015 年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校桜美林大学より、役員会資料（PP.8-10）に基づき報告があった。

2. 2015 年度第 2 回常任幹事会報告

会長校東洋大学より、2015 年 12 月 4 日（金）に開催された常任幹事会について、資料 1 に基づき報告があった。また、「研修会・講演会等の開催に伴う補助制度」（資料 1 P.49）につ

いて、第2回常任幹事会で挙げられた意見を反映した資料の配付、説明があった。

このことについて以下の意見が挙げられた。

(研究部担当理事校：桜美林大学)

- ・研修会・講演会等の開催に伴う補助制度について、東地区の申請対象に「研究部研修分科会」とあるが、講師派遣補助申請書(案)には、「研究部研修委員会」とある。研究部担当理事校としては、「研究部研修分科会」を「研究部研修委員会」として欲しい。

上記意見を受けて、会長校東洋大学より「研究部研修分科会」を「研究部研修委員会」に修正するとの回答があった。

[協議事項]

協議事項の順番について、予算案に関連する協議事項が複数あるため、議事の順番を「7. 「私立大学図書館協会東地区部会役員校活動費」運用内規改正について」、「8. 新規研修プログラム」、「9. 研究部会計の繰越金」を前半に協議するとの説明があった。

1. 2015年度東地区部会中間決算報告について

部会長校学習院大学より役員会資料(P.13)に基づき中間決算報告がされ、承認された。

2. 2015年度東地区部会研究部中間決算報告について

研究部担当理事校桜美林大学より役員会資料(P.14)に基づき中間決算報告がされ、承認された。

3. 2016年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について

部会長校学習院大学より、役員会資料(PP.15-16)に基づき以下の説明があった。

【事業計画(案)】

- ・役員会資料参照。

【予算(案)】

- ・研究部繰越金の返金、役員校活動交付金、新規研修プログラムの件が反映された内容で作成している。
- ・部会総会費：会場運営費一式(案内業務を学生アルバイトで対応)を追加している。
- ・部会総会費：講師謝礼、その他を研究部予算案に計上したため減額となっている。
- ・研究部交付金：研究部事業計画に基づく予算(案)に応じた交付金額に変更している。

協議の結果、事業計画(案)、予算(案)ともに承認された。

4. 2016年度研究部活動計画(案)及び予算(案)について

研究部担当理事校桜美林大学より、役員会資料(PP.17-18)に基づき以下の説明があった。

【研究部活動計画(案)】

- ・役員会資料参照。
- ・昨年度からの変更点として、新規事業である地域研修、オンデマンド研修を追加している。

【予算（案）】

- ・研究講演会（部会総会）：東地区部会予算から研究部予算に移動となった予算額を追加している。
- ・研究会開催費：2013年度より2日間開催から1日開催となったこと及び過去の決算状況等から判断し減額している。
- ・地域研修：新規追加している。
- ・オンデマンド研修：新規追加している。
- ・印刷費：封筒の印刷数削減のため減額している。
- ・通信費：過去の執行状況から判断し、減額している。
- ・運営事務費：過去の研究部資料の電子化を実施するため増額している。

このことについて以下の意見が挙げられた。

（会長校：東洋大学）

- ・活動計画の項目名について研修会、研修分科会、地域研修、オンデマンド研修という同じような名称が使用されているので、研修事業として整理してはどうか。

上記意見を受けて、研究部担当理事校桜美林大学より以下の回答があった。

- ・研究部運営委員においても名称を整理した方がよいとの意見が出ているため、次年度に整理していく。

協議の結果、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

5. 2016年度運営委員及び研修委員について

研究部担当理事校桜美林大学より、役員会資料（P.19）に基づき説明があり、承認された。

6. 2016年度東地区部会総会・館長会・研究講演会の開催校について

部会長校学習院大学より、役員会資料（P.20）に基づき説明があり、承認された。

7. 「私立大学図書館協会東地区部会役員校活動費」運用内規改正について

部会長校学習院大学より、資料3に基づき、以下の説明があった。

【現状と問題点】

- ・役員校活動費は、部会長校の所在地からの鉄道距離に応じた配分となっているが、部会長校から100km未満の役員校は活動費の補助がない。
- ・会長校が西地区の場合、西地区で開催される会議があるため、補助のない役員校の負担軽減が必要である。

- ・鉄道距離に応じた金額についても実際の交通費に合わないケースが発生するため、金額の配分を変更する必要がある。

【提案】

- ・会長校が西地区の場合は各会議の開催場所を考慮し、部会長校から役員校の鉄道距離が100km未滿の役員校（部会長校、監事校を除く）に一律100千円を交付するように内規の改正を提案する。
- ・実際の交通費に合わないケースに対応するため、鉄道距離に応じた金額への改正を提案する。

協議の結果、「私立大学図書館協会東地区部会役員校活動費」運用内規改正について承認された。

8. 新規研修プログラムについて

部会長校学習院大学より、資料4に基づき、以下の説明があった。

【地域研修（図書館員スキルアップコース）（案）】

- ・首都圏以外の加盟校の参加が容易な開催地で実施する。
- ・実施は、2年に1回とする。現在、平成28年度実施を検討している。
- ・研修のテーマは、「アウトソーシングのマネジメント」。毎回テーマは見直しを行い、ニーズにあったテーマを取り上げる。
- ・研修は、大学図書館支援機構（IAAL）に委託することで、理事校の負担を軽減し実施することを考えている。

このことについて以下の意見が挙げられた。

（会長校：東洋大学）

- 1)地域の加盟校にしっかり伝えるための広報はどのように考えているか。広報内容についても参加してもらうための工夫をお願いしたい。また、参加者数はどのくらいを見込んでいるのか。
- 2)新年度になってから広報するよりも東西合同役員会後に周知したらどうか。まず概要を広報し、詳細を新年度に広報するなど。
- 3)2年に1回の研修だが、館員の複数回受講について制限を考えているか。
- 4)研修として、例えば6年ほどかけてステップアップするような内容とするのか、広く浅く基本的なスキルを身につけるとするのか。

（監事校：明治大学）

- 5)大学図書館支援機構はどのような組織なのか。このような業務を十分実施できるのか。また、委託費について、継続していくためにどの程度の費用が必要になるのか。

上記意見を受けて、部会長校学習院大学より以下の回答があった。

1)HP、加盟校へのメール連絡を考えている。また、参加者数は約 30 名で予算を作成している。

2)広報のタイミングについては、今後検討する。

3)テーマも変わるため、特に制限はしない。

4)どちらかと言えば、広く浅く基本的なスキルを修得することを目的として考えている。

5)大学図書館支援機構は、国立情報学研究所のセルフラーニング教材原稿の作成開発支援、NII 講習会への講師派遣、図書整理業務委託等を事業として展開している。また、東地区部会の研修分科会の委託も請け負っており実績としても問題はないと考えている。委託費用としては、約 76 万円を予算として考えている。内訳としては、講師謝礼、グループ討議指導、受付、事前準備、交通費、会場使用料となっている。

協議の結果、地域研修について承認された。

【事務長連絡会＋管理職研修（案）】

- ・事務長連絡会に合わせて管理職研修を実施する。
- ・人事異動による図書館業務の経験がない図書館管理職が増えてきており、図書館に関する知識、運営、理解を深める機会にしたい。
- ・実施は 2 年に 1 回とし、地域研修を実施しない年度とする。現在、平成 29 年度実施を検討している。当該年度の地区ブロック選出理事校を開催場所と考えている。
- ・対象は管理職とする。参加者数は約 50 名、委託費用は約 58 万円を想定している。
- ・テーマは「大学図書館の役割（仮題）」「図書館経営・運営（仮題）」を検討している。

このことについて以下の意見が挙げられた。

(監事校：明治大学)

1)次期地区ブロック選出理事校に依頼した際に、事務長会の開催場所という内容はなかったため、方向性はよいが、次期地区ブロック選出理事校の了承を経た上で正式決定がよいのではないか。

2)継続的に実施するための財政上のシミュレーションの検討が必要ではないか。

上記意見を受けて、部会長校学習院大学より以下の回答があった。

1)平成 29 年度の実施を検討しているため、次期地区ブロック選出理事校と調整し、今後の役員会で協議する。

2)シミュレーションにおいて、数年経過すると繰越金を使い切ってしまうため、今後、東地区部会の実施している研修事業の見直しが必要である。統廃合を含め優先順位をつけて予算に見合った事業の見直しを検討する。

協議の結果、事務長連絡会＋管理職研修について今後の役員会でさらに協議していくことが確認された。

【オンデマンド研修（試行プロジェクト）（案）】

- ・時間や場所に制限されないため参加が容易となる研修である。
- ・以前のように館内で経験者に指導を受ける機会が減少しているため、オンライン上で図書館の実務スキルを修得する内容とする。
- ・平成 28 年度、平成 29 年度はシステム構築 (Moodle を使用予定)、コンテンツ作成を行い、平成 30 年度より募集開始を考えている。平成 28 年度は図書コース、平成 29 年度は雑誌コースを作成する予定である。コースごとに教材、課題、レッスン、小テスト、掲示板を置き、分からない点を質問する等、双方向型の研修を構築する
- ・受講期間は、週 1 回 2 時間とし 3 カ月から 6 カ月単位とする。
- ・平成 28 年度は約 89 万円、平成 29 年度は約 78 万円、平成 30 年度は約 56 万円となる。
- ・当面は東地区で実施するが、西地区からの要望があれば全体に拡大し、協会の事業として実施していくことも検討していきたい。

このことについて以下の意見が挙げられた。

(会長校：東洋大学)

- 1) オンデマンド研修のみ試行プロジェクトとなっているが、「試行」はなくてもよいのではないか。
- 2) コンテンツの更新について計画をしているか。

(監事校：明治大学)

- 3) オンデマンド研修においてスキルアップが可能であれば、地域研修の代替となると考えているか。それとも、オンデマンドをより効率的に行うために、地域研修を位置付けているのか。

上記意見を受けて、部会長校学習院大学より以下の回答があった。

- 1) 「試行」は削除する。
- 2) コンテンツ作成後の予算に教材改訂費として計上しているので、更新していく予定である。
- 3) 図書業務を遂行する上でスキル以外にもグループ討議などを経た課題を解決する能力も必要と考えている。スキルはオンデマンドで対応し、課題解決は主に地域研修とし内容が重複しないようにしたい。

協議の結果、オンデマンド研修について承認された。

9. 研究部会計の繰越金について

部会長校学習院大学より、資料 5 に基づき、以下の説明があった。

【現状と問題点】

研究部会計の2013年度決算より研究分科会の繰越金を回収したことで、研究分科会の会計問題は解消されたが、研究部の繰越金が多額となっており問題が生じている。

【提案】

研究部の繰越金を東地区部会に回収する。東地区部会の繰越金は大きくなるが2016年度以降の予算において、以下の活動に使用することで繰越金の有効活用を図る。

- ・地域研修（図書館員スキルアップコース）
- ・オンデマンド研修
- ・事務長会＋管理職研修

協議の結果、研究部会計の繰越金を東地区部会に回収することについて承認された。

【懇談事項】

1. 2016年度東地区部会総会・館長会・研究講演会の開催（案）について

部会長校学習院大学より、役員会資料（P.25）に基づき以下の説明があった。

- ・館長会のテーマは検討中である。
- ・研究講演会については、パネルディスカッションの実施（テーマ：図書館の委託について（仮））を検討している。

2. 東地区部会役員校、部会総会開催校の選出について

部会長校学習院大学より、配付資料（資料6）に基づき報告があった。

以 上